

ベッド不足 お産綱渡り



2週間余り前、病院に次々と受け入れを断られた東京都の妊婦が死亡したと報じられた。「ここにいられて良かったな」。夫の言葉に、妊婦の目から涙があふれた。

県内には、リスクの高いお産を診る総合周産期母子医療センターが、ここを含めて4施設。地域周産期母子医療センターが12施設。NICUは計149床あるが、それでもベッドが足りず、年間70人以上の妊婦が東京など県外に搬送された。

一呼吸置いて、豊島さんが

「落ち着いたら他の病院に移ってもらうかも知れませんが、次の人に譲ってあげて下さい」。夫は「そうしないといけないんですよ」とうなずいた。

この医療センターにはNICUと回復後に入る病室(GCU)で計43床ある。NICUに入る可能性が高い赤ちゃんを出産しそうな妊婦が、院内の産科などに、この日8人。症状が安定した赤ちゃんに転院してもらい、何と

か6床確保してあった。豊島さんは「今日は外からの搬送依頼は2件が限度。あと1件」と言った。使命感と能力の限界とのさまざまで、現場はもろく。

少し落ち着いた午後、豊島さんが言った。「子どもを大切にしない国に未来はあるのかと思う。だから前を向いて頑張りたい」。

午後3時、今度は横浜市の産科病院から新生児の受け入れ要請。38週で生まれ、体重2200g。呼吸は安定しているが、血糖値は低い。た

だが、緊急性は低そうだ。小谷さんは瞬時に判断し、「分かります」と答えた。最後の1床が埋まった。

次の瞬間、生まれたばかりの赤ちゃんが分機から運ばれてきた。「オギャー」。女の子。母親の処置が細く分娩室からも歓声が上がった。呼吸の度に赤ちゃんの胸が深くへこむ。「苦しそう」。豊島さんらは呼吸を助ける器具で手当てを始めた。

「一番心配するような状態ではないですよ」。豊島さんの言葉に、赤ちゃんを抱いた母親が胸を濡らす。赤ちゃんは呼吸が荒く、急いで人工呼吸器を着ける必要がある。保育器に入れられNICUへ向かう我が子が、母親は分機台から手を振り続けた。

壁に網縋さんの勤務表があった。7月8日、8月9日、8月8日。当直を示す「○」がほぼ3日おきに並ぶ。年間約100日、病院に泊まる計算だ。時間外勤務が215時間。間に達した月もある。網縋さんは「地方の大きな問題は専門医の不足」と言う。

大学が医師を引き上げるなどしたため、今年3月までの半年間、定員5人のNICUの医師は、NICU経験が1年未満の3人と網縋さんの計4人だった。でも、患者が減るわけではない。新生児の場合、24時間、呼吸状態や血圧

専門医、病院に年100泊 人手足りぬ地方の拠点

体重千キロ未満の赤ちゃんが生まれる割合が全国(06年)の青森県。10月の夕方、青森市の県立中央病院の新生児集中治療管理室に入院中の赤ちゃんの母親が、数十分離れたところから夫と会いに来た。

「お父さんとお母さんです」。看護婦に保育器から

出してもらった赤ちゃんは、人工呼吸器を着けたまま、父の胸に抱かれた。体重千キロあまり、母親は赤ちゃんの小さな5本の指に自分の人さし指を握らせ、名前を呼んだ。

父親は「願ひは、元気に帰ってきてほしいということだ」。緊張感が漂うNICUに穏やかな光景が同居した。

この夫婦が4年前に授かった最初の子ども千キロに満たなかった。県内の別のNICUに2カ月間、助からなかった。「新たな赤ちゃんの搬送があれは、転院をお願いするかも」。面会の数日前、網縋貴介・新生児集中治療管理部長(48)は夫婦に告げた。

大きな病院がいくつもある都会と違い、県内に総合周産期母子医療センターはここ1カ所。未熟児やリスクの高い

などの細かい変化を読み取り、処置しなければいけない。気を抜ける瞬間はない。網縋さんは「新生児の治療は全力疾走でつなぐリレーやな。全国で最悪だった青森県の新生児死亡率はここ10年で上向いたが、医療を支える人々の負担は限界に達している。深夜、照明を落としたNICU。当直の網縋さんは保育器を一つひとつ見回った。黙々と採血をし、水分量を手エクシ、記録した。

これは大変な新生児科医を続けている理由を聞いてみたいと思った。「悔しい」。網縋さんはボツリと話した。「医師がもっといれば、もっといい医療ができるのに。全力でリレーをつなげる日がいつくる。そんな日を夢見ている。と10月、NICU経験者が入り、医師は5人。でも、年明けにはまた1人減る。呼吸状態が不安定なことを知らせるセンサーが鳴った。網縋さんは落ち着いた保育器に近づき、両手で赤ちゃんの背中を優しくさす。しばらくすると、正常に戻った。「ここにあるのは声なき声。それを聞く」とする世の中になつていく。保育器の中で、静かに眠る赤ちゃんが、泳ぐように小さな手足をばたかせた。(武田耕太)

内閣人事局見送り 来年度政府方針

政府は、国家公務員の幹部人事を一元管理する内閣人事局の来年度設置を見送る方針を固めた。省庁間の調整や、自民党内の意見をまとめるには時間が足りず、予算措置をすることは難しいと判断した。麻生政権が、公務員制度改革を優先課題としてこなかったことが背景にある。設置は10

制度設計を担う国家公務員制度改革推進本部の顧問会議は14日、総務省や人事院の機能を移管するとして報告書をまとめた。しかし、人事院側は「公務員の労働基本権が制約されている代償措置として第三者機関の人事院がある」として、移管に反対。自民党内でも渡辺喜美・元行革

整を終えたらうで、通常国会への関連法案提出をめざす。改革の遅れに対する懸念を払拭するため、関連法案を同時に改革全体のスケジュールを1年程度、前倒しすることを盛り込んだ行程表を閣議決定する方針。

関連法案が成立すれば、予算措置をしたらうで早ければ

「信用できなくなつた」首相発言に小沢氏反発

民主党の小沢代表は22日、麻生首相が小沢氏の発言を「信用できなくなつた」と語ったことについて、「総理大臣として情けない。あまりにもレベルの低い話で、論議しようもない」と反発した。福島県郡山市で記者団に語った。

出席者の一人は会談後、その際に小沢氏が「首をかけてでもやる」と言ったと説明した。これに対し小沢氏は「議員辞職をすると言ったのか」と会見で問われ、「言っていない」と否定していた。

これについて首相は21日、「辞めると(私や河村官房長官)7人の前で言ってきた。この人の話あまり信用できない。うかつな発言と批判。小沢氏は22日、「議員辞職する」とは言っていない。結果が違つ

新書 創刊70年

1938年11月20日の創刊以来、2650点以上を刊行してきました。これからも新しい“発見”をお届けします。

歌 豊 宇 白 坂 志 ル 子 子 民

岩波書店

〒101-8002 東京都千代田区一ツ橋2-6-5
http://www.iwanami.co.jp/
お求めの出版物が小売書店の店頭になく場合は、その書店にご注文下さい。(受発は岩波書店のみです)